

全日本F3選手権シリーズ第13戦/第14戦 富士スピードウェイ

【開催日】	8月26日(土)～27日(日)		
【マシン】	#37 TDP TOM'S F305 (Dallara F305 / TOM'S TOYOTA 3S-GE)		
【チーム】	TOM'S		
【結果】	第13戦	予選:12位	決勝:10位
	第14戦	予選:12位	決勝:7周目リタイア

8月26日(土)～27日(日)に富士スピードウェイで全日本F3選手権シリーズ第13戦/第14戦が行われ、松村浩之選手は名門TOM'Sより37号車で参戦した。

これまで海外でレース活動を行ってきた松村選手にとって、今大会が国内初レース。急遽参戦が決まったため、金曜日の練習走行が富士スピードウェイ初走行となったが、1時間2セッションの走行だけではまだまだコース、タイヤの限界など掴みきれず、予選は2戦ともに12位に留まる。

第13戦の決勝レースでは、後続車とのポジション争いで体勢を崩し、スピン。一時最後尾に後退するものの、その後2台をオーバーテイクし12番手にポジションを戻す。さらにレース後半、他車のリタイヤにより10番手に浮上した松村選手は、完走を果たし、1ポイントを獲得した。まだ手さぐり状態ではあるものの、予選～決勝と毎セッションごとに自己ベストタイムを更新し、徐々に走りのポイントを掴んでいった。

翌日曜日に行われた第14戦決勝は、レーススタート直前になり雨が降り出したことで、レースを前に10分間のフリー走行が実施されたが、ここで松村選手は10番手タイムをマーク。予選時よりも順位を上げると同時にトップとのタイム差を縮め、決勝での追い上げに期待がかった。12番手からスタートし、ウォータースクリーンが立ち込める中、9番手にポジションを上げた松村選手だったが、7周目にBコーナーで痛恨のスピン。無念のリタイヤとなった。前車より速いペースのラップタイムを刻み始めた矢先のスピン。ポジションアップの可能性も十分にあっただけに、残念な結果となった。

【松村選手コメント】

予選では、セクターごとのベストタイムをうまくまとめることができず、ブレーキングも不完全で、チームメイトと比較してもタイムをロスしてしまっていたし、タイヤの限界も掴めていない手探り状態だったが、第13戦の決勝では、予選よりも速いタイムで走れたことが収穫だった。ただ、レース中、思った通りのペースで走れず、ポジションを挽回するのに時間をかけすぎてしまった。

雨となった第14戦の決勝は、まずまずのスタートだったが、第1コーナーの混戦でポジションを落としてしまった。1周目から順調にポジションを挽回していくことができたが、ブレーキを雑に踏みすぎてしまい、スピン。全てを台無しにしてしまった。今日のレースは完走したかっただけに、とても残念な結果に終わってしまったが、この週末、初めてのことで、たくさんのことを勉強することができた。



第13戦&第14戦公式予選結果	: http://www.j-formula3.com/TOPICS/topics145.html
第13戦決勝結果	: http://www.j-formula3.com/TOPICS/topics146.html
第14戦決勝結果	: http://www.j-formula3.com/TOPICS/topics147.html